

新版 指導要文集

しんぱん

しどうようもんしゅう

だいにしょう

じっせん

第二章 実践

ちいきこうふ

地域広布

とうじよう

にちれんこころ

しょうじよ

にほんこく

ただし、東条、日蓮心ざすことは生処なり。日本国よ

たいせつ

そうろう

れい

かんおう

はいぐん

重

思

りも大切におもい候。例せば、漢王の沛郡をおもくおぼ

しょうじよ

しめししがごとし。かれ生処なるゆえなり。

べつとうのいぼうへんじ

(101 別当御房御返事

ちいきこうふ

地域広布

1205

ページー2行)

あぶつぼう

ほつく

どうし

もう

阿仏房しかしながら北国の導師とも申しつべし。

あぶつぼうごしよ

ほうとうごしよ

263 阿仏房御書（宝塔御書）

ちいきこうふ

地域広布

1733

ページー9行

あぶつぼう

きたぐに

どうし

ひと

阿仏房、あなたはまさしく北国の導師ともいうべき人です。

くに 知 くに したが ひと ころふじよう
国をしるべし。国に随つて人の心不定なり。たとえば、
こうなん たちばな わいほく 移 枳 ころ
江南の橘の淮北にうつされてからたちとなる。心なき
そうもく 所 ころ
草木すところによる。まして心あらんもの、何ぞ所に
よらざらん。

296 南条兵衛七郎殿御書
なんじようひようえしちろうどのごしよ

ちいきこう ふ
地域広布
1828 ページ 2 行

くに ぶつぽう きへん 任

そうろう

ぶつしゆ

その国の仏法は貴辺にまかせたてまつり候ぞ。「仏種は

えん お

ゆえ いちじよう と

縁より起こる。この故に一乗を説く」なるべし。

たかはしどのごへんじ べいこくごしよ

358 高橋殿御返事（米穀御書）

ちいきこうふ

地域広布 1953 ページ14行

くに ちいき ぶつぽう

ぶつしゆ

その国（地域）の仏法は、あなたにおまかせいたします。仏種

じようぶつ しゆし

えん むす

しよう

（成仏の種子のこと）は縁を結んでいくところに生じていきま

いちじよう ほう ほけきよう と

す。そのゆえに、一乗の法である法華経を説いていくのです。